

成人の主張

山崎
章

新年を迎えた2016年といふ年がスタートしたこの日、私たちちは成人として新たな人生のスタートラインに立ちました。まずは、年始のお忙しい中、私たちのために、このようないき誠にありがとうございます。盛大な式典を開催していただき、はじめ、ご来賓の皆様より温かいお言葉をいただき重ねてお礼申し上げます。また、先程はいの町長様を社会人としての自覚を持ち、これまで以上に何事にも励んでいきたいと思います。こうして無事成人を迎えることができたのは、家族の皆さんや、学校の先生方、地域の皆様の支えがあつたからこそです。この場をお借りして、関係する皆様に心から感謝申しあげます。

さて、私を含め成人の皆さんには、この20年間いろいろな思い出があるはずです。笑ったり、泣いたり、ケンカしたりと子ども時代を歩んできたことでしょう。私もまたさんの思い出がありますが、中でも一番の思い出は「本川神楽」です。私は現在本川地区に住んでおりますが、「本川神楽」は本川地区で約500年間受け継がれている歴史ある伝統文化です。神楽とは、お神祭などで「家内安全」や「無病息災」といふ御祈禱の一つとして奉納す

川地区では少し活気が出でています。未熟者ではあります、その中の一員として活動できることに私も嬉しく感じ、これからも、神楽を通じて地域の元気に繋がつていければと思つております。

また、日ごろの練習では舞についてはもちろんですが、本川神楽の一員としての身だしなみや礼儀など厳しく注意を受けることがあります、先輩方の指導やいろいろな経験が少しずつではありますが私の人生の糧になつていると改めて感じております。

私たちちは成人を迎えたといつても未熟者はばかりです。まだまだ人生の先輩方のご指導も必要であり、ご迷惑をかけることもあると思いますが、先輩や仲間の皆と一緒に一步歩んでいきたいと思います。大変簡単ではありますけれども、これまで成人の主張とさせていましたが、本日はありがとうございま

私たちも二十歳を迎えるに職業に従事している人や、学業に励んでいる人など立場は様々ですが、一人ひとりが目標に向かい努力し、自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って前進する覚悟であります。この自然豊かで歴史深い、いの町に生まれ、小・中・高校と共に競い合つた仲間と今こうして「いの町」の新成人として誓いを共にし、このいの町を自分たちの誇りとして心に刻んでいきたいと思います。そして、後に続く後輩たちの見本となれるような社会の人を目指していきます。

立派な自衛官を目指し一日一日を大切にしていきます。今までの20年間を振り返ると、親はもとより、温かく見守つてくださった地域の方々や、先生方のお蔭で今こうして成人式を迎えたんだと思思います。地域の方々は、高校生になつても「おはよう」「おかえり」といつた声をかけていただき心がホッとしていました。また、先生方は進路などを真剣に考えてくださり、自衛官という道を導いてくれました。たくさんの人から支えがあり、無事に20歳を迎えることができました。

そして、感謝してもしきれないのは、20年間ずっと支え続け、応援してくれた両親ではないかと思います。親元を離れ、自衛官になり、辛いことや悲しいことがたくさんあります。時にはくじけそうになつたときでも、いつでも優しく話を聞いてくれ、励まし元気づけてくれた両親には感謝してもしきれません。そんな両親に、いつかは恩返しできるよう大人に成長していきます。

今年、成人という節目を尊敬できる方々や大切な同期、友達と共に迎えることができます。本当に幸せ者だと実感します。本当にありがとうございます。

私はこれからも自衛官、そして一人の社会人としての責任を持ち、常に向上することを忘れず、失敗に恐れることなく、社会に貢献できるような大人になることを誓い、成人の主張とさせていただきま

成人の主張

本日は、成人を迎えた私たちのためには、このような盛大な式を催していただき誠にありがとうございます。ならば、いよいよ町長様をはじめご来賓の皆様から温かい激励とお祝いのお言葉をいただきまして、ことに心から感謝申し上げます。